



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

https://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.672 2023.2.22

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会が幹事会ひらく

まちづくり 提案・提言 とりまとめに着手

21日、赤羽会館で赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会が開かれました。

最初に、幹事会と公募住民に分けて行われた、まちづくりワークショップの結果が報告されました。幹事会から3案、公募住民から3案の計6案のまちづくりイメージが出されましたが、うち5つは赤羽小と赤羽公園を現在の場所に存置する案、1つは赤羽小を赤羽会館の場所に移設し、赤羽公園の約半分を校庭に使うという案です。

協議会では今後、これらの案をふまえて「まちづくり提案・提言」をとりまとめいくとしています。

赤羽小学校の 移転に含み残す

次に事務局から、「提案・提言」のイメージが一例として示されました。その中には、「具体的な土地利用にあたっては、赤羽小学校がそのまま

存置し続けることが望ましいとの意見が多く出ました」との記述がある一方、「もしも教育環境への影響が顕著である時は：（※例・他所への移転も選択肢の一つであることを記述する）」との文言も入り、赤羽小の移転に含みを残すものとなっています。

再開発事業への 疑問の声も

議論の中では、「再開発というと耳に優しく聞こえるが、赤羽駅西口再開発は本当にやって良かったのか」、「西口は再開発する前の方がにぎわっていた。弁天通りの先はきれいに枯れた。一歩間違えば、まちが死んでしまう」など、超高層マンションを誘致する再開発事業に疑問を呈する発言も相次ぎました。

なお、年度内に予定していたまちづくり懇談会は、4月以降に開催を先送りすることになりました。（のの山けん）

Aグループ



Bグループ



Cグループ



まちづくりワークショップでのイメージの具体化(幹事会資料より)

幹事会の傍聴を可能に

協議会で私は、オブザーバーとして発言する機会を頂き、協議会の議論をオープンにするために、希望する一般区民に幹事会の傍聴を可能にするよう要望しました。（のの山けん）



まちづくりは住民合意で



区議会第1回定例会 宇都宮章区議の代表質問より

22日に開会した北区議会第1回定例会で、宇都宮章区議が日本共産党北区議員団を代表して本会議質問に立ちました。その中から、赤羽駅東口周辺のまちづくりに関する質問と区長の答弁（要旨）を紹介します。（のの山けん）

まちづくり懇談会

Q. 計画されているまちづくり懇談会は、住民誰もが参加でき、再開発計画の是非も含め自由な意見を言えるものとし、1回だけでなく今後複数回の開催を計画すること。

A. より多くの住民の参加が得られるよう協議会が準備を進めており、区としては、まちづくりへの住民参画を進める立場から、今後の開催を働きかけていきたい。

再開発事業説明会

Q. 区として「第二地区」「第三地区」の再開発準備組合に、計画が本決まりになる前に商店街や学校関係者等に向けた住民説明会を早期に開くよう要請すること。

A. 両地区とも、現時点で具体的な計画案の作成には至っていない。今後、計画案の検討が進んだ際には、自主的な住民説明会の開催を両準備組合に求めていく。

協議会幹事会の公開

Q. 赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会を住民に開かれたものにするために、一般住民のオブザーバー参加を認めるよう協議会に働きかけること。

A. 一般の方々の協議会幹事会へのオブザーバー参加については、（議会において）要望があった旨、（事務局である区として）協議会に伝えていく。

公共施設の再配置

Q. 赤羽小学校の移転や赤羽公園の存廃など周辺公共施設の再配置計画については、住民の間での十分な議論と合意がないまま、一方的に計画化しないこと。

A. 区として「赤羽駅東口周辺地区まちづくり基本計画」の策定に着手し、有識者や関係団体等からなる検討会の設置、パブコメ、地域の意見をふまえ取りまとめる。

ストップ! 大軍拡・大增税

岸田政権は、敵基地攻撃能力の保有、5年間で43兆円もの軍事費増額など大軍拡をねらい、その財源を国民への大增税で賄おうとしています。その危険な中身をわかりやすく知らせる「しんぶん赤旗」号外のリーフレットを配布しながら、街頭から「ストップ! 大軍拡・大增税」と訴えています。（のの山けん）

